

富山の人が誇れるワインを。

ワインとともに、富山を味わう。 農業をすることの喜び。

北陸で最も古いぶどう園とワイナリーで、家族とともに働いています。現在、代表を務める父が、ぶどう栽培とワイン醸造に情熱を注いできたことが良かったのでしょうか。口コミのおかげで、今があります。

年間降水量の多い富山は、ぶどう栽培に適した地とは言い難いのですが、棚仕立てにして地面から離すことで病気を防ぐなど、さまざまな工夫を凝らして大事に育てています。

富山人は、おいしい水や新鮮な魚を食べ慣れているからか、若くて素材の味が分かるワインが好きなんです。他県の人とは旨み^{うま}を感知するセンサーのようなものが違っているんですね。私たちの基準は、富山。富山の食に合った、そして富山の人^{うま}が誇れるようなワインづくりを心がけています。

自分たちで一生懸命真心込めて作ったものをお客さんに届けられることが、農業の喜び。すぐに感想を聞くことができますし、頑張った分だけお客さんに喜んでもらえます。最近の若者は農業から離れているようなので、少しでも農業に興味を持ってもらえるように、オリジナルエプロンを身につけたりして、イメージアップを心がけています。最近、東京から「仕事をしたい」という問い合わせもあるんですよ。

親になって、家業の意味を知る。

最初に富山の良さに気付いたのは、初めて海外に行った10代のとき。その後、東京にも興味があったので、上京していろいろな仕事をしました。しかし、東京は毎日お祭り騒ぎの



ような賑わいで、とても疲れたんです。暮らすところじゃないなと思いました。Uターンしてから18年ほど経ちますが、富山に帰ってきてからも外で働きたいという思いから、しばらくはOLをしていました。家業に対して違う意識が芽生えたのは、出産がきっかけ。親になって初めて跡を受け継ぐことの意味を考えるようになり、子どもにここを残したいなと思うようになりました。

姉の夫はカフェで提供するスイーツとワイン醸造の責任者で、私の夫はぶどう栽培の責任者、私は販売や広報を担当しています。家族経営であっても、それぞれの役割が明確なので、みんながお互いを尊重して働いています。そんな姿を見ているからか、息子は跡を継ぎたいと言っていますね。

子どもも、のびのび育つ場所。

ここは、のどかで、空が近くて、空気もきれい。子どもが自由に遊べるスペースもあるので、親子で来られる方も多いです。富山は自然も多く、学校の雰囲気も落ち着いているので、子育てにも本当に恵まれた地だなと思いますね。

山藤智子（やまふじともこ）さん
ホーライサンワイナリー株式会社
（やまふじぶどう園・婦中町みさご谷）
のCMO（広報販売最高責任者）。販売
や広報の他、ぶどう園でのコンサ
ートやウエディングのプロデュースな
ども手がける。



山藤智子さん

この連載では、富山で活躍するさまざまな方の「アメイジング（驚くほど素敵）」な富山について掲載します。また、WEBサイトでは皆さんのアメイジングなエピソードも募集しています。

▶ 詳細は、「アメイジング トヤマ」で検索してください。



▲WEB サイト